

災害時無料公衆電話

【緑色のアナログ公衆電話】

緊急ボタンを押すか、または10円玉を入れれば、通話できます。通話が終わると、10円玉は戻ります。

【灰色のデジタル公衆電話】

テレホンカードや10円玉を使わず、受話器を取るだけで通話できるようになります。

※ピンク色の公衆電話は無料で使用できません。



家族への連絡方法

NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービス。

☎ 071 をダイヤル

録音 1

暗証番号を利用する録音 3

再生 2

暗証番号を利用する再生 4

被災地の方の電話番号を入力

伝言の録音 1*

(30秒以内)

伝言の再生 1*

*ダイヤル式電話機の方は操作不要です。

電話番号 事前に記入しておきましょう

____ - ____ - ____

詳しいサービス概要や、ご利用方法はNTTのホームページをご覧ください。
その他携帯各社で提供されているサービスについては、各ホームページをご参照ください。

日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認
(学校、通学経路、自宅周辺など)
- 家族との連絡方法と待ち合せ場所の確認
- NTT 災害用伝言ダイヤルサービス (左下段参照) や携帯各社の災害伝言板サービス (下段参照) の使用方法の確認
- 緊急時パーソナルメモの記入
- 緊急時の対応 (裏面参照) や、緊急時携帯アイテムの確認

サレジオ学院中学校・高等学校
連絡先: 045-591-8222

事前の登録が必要です! (事前にテストをしてください)

携帯各社の災害用伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認 (安否情報の登録) ができる災害用伝言板サービス。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。

各社の QR コードはこちら



NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
Y!mobile <http://dengon.ymobile.jp/>

緊急時パーソナルメモ

油性ペンで記入してください。

氏 名

住 所 〒

生年月日

性 別 男

血 液 型

家族との集合場所

名称



名称



緊急連絡先

名称



名称



緊急時帰宅路線

線 線

駅 駅
線 線

駅 駅
線 線

駅 駅



大地震対応 マニュアル

SAFETY GUIDE

サレジオ学院中学校・高等学校
Salesio Gakuin
Junior & Senior High School



コンビニエンスストア・
ファミレスなど



神奈川県内
ガソリンスタンド

【災害時徒歩帰宅支援ステーション】

このステッカーを張っているお店は、水道水やトイレの提供、通行可能箇所などの情報提供、一時的な休憩の場の提供をしています。

学校からの災害時における安否確認メール

安否確認方法として学校から安否確認メールが送られますので、画面上の確認ボタンを押すことで、学校は安全を確認したことになります。

地震発生直後

揺れがおさまったら

落ち着いたら①

落ち着いたら②



地震発生

今いる場所は
本当に安全？

YES
その場所を動かない

NO
避難場所へ避難



家族への
安否連絡

自宅に歩いて
帰れる？

YES 自宅へ

NO 避難場所へ
登下校途中で地震が発生した場合は、学校が自宅が近い方に避難する。



学校へ
安否報告

※裏面を参照してください

学校内にいるとき

自分の身を守る

- 窓や棚、ガラスなど割れたり中ものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下などにもぐるか、カバン・衣類などで頭をおおうなどして、落下物から頭を守る。
- 余裕があれば、ドアの近くにいる人は、ドアを開け、出口を確認する。
- 落下物がない場所にいる場合は、その場ですわりこみ、ゆれがおさまるのを待つ。
- 体育館では、できるだけ中央に避難する。
- ピロティや4階渡り廊下には出ない。
- 校庭では校舎の壁際を避け、校庭の中央を目指す。
- 余震の可能性もあるため、慌てず、しばらく様子を見る。
- 近くにいる先生方の指示に従う。

安否連絡

自分の身の安全を
確保してから、家族へ
安否連絡をしましょう。

落ち着いて！

※裏面を参照

避難

学校内では先生方、
学校外では駅員などの
係員の指示に従って、
落ち着いて安全な場所へ
避難しましょう。

学校の外にいるとき

通学途中（路上）

住宅街や、街中にいるときは

まずはカバンで頭を守り、建物から落ちてくるガラスや、切れた電線などに注意して、公園や広場に避難しましょう。

自動販売機やブロック塀など、倒れやすいものからも離れましょう。



通学途中（乗り物内）

電車やバスの中にいるときは

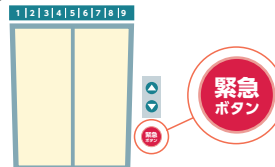
急ブレーキ・急ハンドルに備えて、普段から吊革や手すりにつかまりましょう。座席に座っている場合には、低い姿勢をとり頭部をカバンなどで保護しましょう。慌てて飛び出さずに、構内放送や車内放送、係員の誘導に従って避難しましょう。



その他

エレベーターの中にいるときは

階数表示のボタンを全部押して、ドアが開いた階で降ります。ドアが開かないときは、緊急ボタンを押して外部と連絡をしたら、外からドアを開けてもらうまで落ち着いて待ちましょう。



地下街にいるときは

停電になっても非常灯が点くので、慌てずに行動しましょう。火災が起きている場合は、構内放送をよく聞いて火元を確認してから避難しましょう。避難の時はハンカチで鼻と口を覆って、からだを低くして壁づたいに煙の流れる方向へ。緑色の避難口の表示も参考に。

